

取扱説明書B

ご使用前に必ずお読みください

※取り扱い説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/ **BTE19X**
バスキー/ **0000** (ゼロを4つ)

BTE190・BTE191
黒・BLACK 赤・RED
BTE192・BTE193
青・BLUE 銀・SILVER
Bluetoothワイヤレスイヤホンマイク

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

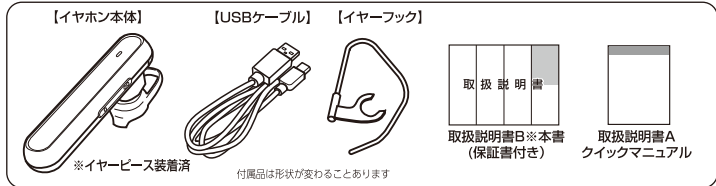
1 はじめに

本製品はBluetooth(HFP/HSP)対応の携帯電話、スマートフォン、パソコンなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を「接続機器」もしくは「携帯電話」、「スマートフォン」と表記しています。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

短く押す ▶例)短く1回押す	短く連続で押す ▶例)連続で2回押す	長押しする ▶▶▶例)約4秒間長押しする
-------------------	-------------------------	-------------------------

●●● セット内容の確認 ●●●セット内容がすべてそろっていることを確認してください。



●●● 安全にご使用いただくために

●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話も含めて当社では一切その責任、保証はいたしかねます。

警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみが発生が想定される」内容です。
右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	禁止(してはいけないこと)を示します。
	強制指示(必ず実行していただくこと)を示します。

警告

●火の中に投下したり、高温(60℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。
イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますので、炎天下の車内への放置は避けてください。グループボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置も避けてください。

●本体(イヤホン)は流水に当てたり水没させないようしてください。
本体以外の部品(充電器やケーブルなど)は非防水なので濡れた手でさわらないでください。
本製品のイヤホン本体はIPX4規格IPX4仕様です。流水に当てたり水没した場合は故障します。故障や火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となりますのでご使用をお止めください。また、本体、特に充電端子や充電ポート内が濡れた場合はスイッチ操作や充電はせず、乾いた布で水を拭き取り、濡れた箇所を完全に乾燥させてください。また、本体内に水などが内部に入ったままご使用になると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

●釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。

●分解、改造、後加工、乱暴な扱いはしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。イヤホンの内蔵充電電池は取り外し、交換はできません。これらが原因する携帯電話のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。
USBケーブルの直接配線、傷がついた状態での使用、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

●走行中の運転者による携帯電話及び本製品の操作、ご使用は絶対にやめてください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、充電ケーブルの抜き差し、DC充電器の操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。

●小さなお子様(乳幼児)やペットなどにご与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。また、本製品には電池が内蔵されているため危険です。

●付属のUSBケーブルをお使いください。
出力がDC5V1A以上のUSB充電器を推奨致します。低出力の充電器ですと、満充電まで長くかかったり、ほとんど充電されない場合があります。
また、USB規格外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。また、DC充電器やお車のUSBポートで充電する場合は、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

●電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

●本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

●航空機に搭乗する際は、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の運航に影響を及ぼすおそれがありますので、必ず事前にご確認の上、ご使用ください。

注意

●お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因となります。

●極端な低温(0℃以下)での保管、放置は避けてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

●本体並びに付属品を屋外(車外)や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

●ポケットやバッグに収納するときは、ケーブルなどを繋がず、イヤホンの電源をオフにしてください。
衝撃や無理な力で故障の原因になったり、メインスイッチが押されて、誤って通話をしてしまうおそれがあります。

●クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。

●長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所にケーブルや充電器を繋かず保管してください。

●プラグ類を本体、充電器から抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

●付属しているUSBケーブル以外で、イヤホンで充電した場合の故障、事故に関して当社では責任を負えません。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

●イヤホンのLED光源を直視しないでください。
目の健康をそこねるおそれがあります。

●●● 取扱い上のお願ひ

- ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
- 本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切いたしかねます。
- 本製品を含むBluetooth機器同士で通話をすると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- 本製品は充電中の待ち受けはできません。充電中は電源がOFFになります。一度充電すると、スマートフォンとの再接続が手動になる場合があります。また、内蔵充電電池の寿命を早めるおそれがありますので、必要時以外はなるべく電源を切ってください。

●●● Bluetoothについて

●Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。スマートフォンなどのBluetooth搭載機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとることができます。

●●● 本製品について

- 本製品のイヤホンはBluetooth Version 5.0 Class2 に準拠、適合しております。上位互換性から、どのバージョンのBluetooth搭載携帯電話とも接続してご使用いただけますが、当社で発表する適合機種以外の携帯電話のご使用は保証していません。
- 適合可能な携帯電話に関する情報は当社Webサイト(箱記載)の適合情報にてご確認ください。
- 付属のイヤーフックやイヤークーピーは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不良や不具合を除き、製品保証の対象外とさせていただきます。
- 内蔵充電電池は通常に使用しても劣化する消耗品です。充電電池の劣化による通話時間、スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電電池の交換はできません。
- 仕様および外観は、改良のため予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

2 製品仕様

●●● 主な仕様

項目	仕様	項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 5.0 Class2	製品寸法・重量	H65× W25× D15 mm ※2
Bluetooth対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP, AVRCP	Bluetooth対応プロファイル	約10g(イヤホン本体のみ)
周波数	2.4 GHz スプレッドラム FHSS	マルチポイント	○ (2台まで対応)
クラス/通信距離	クラス2/最大10 m	マルチペアリング	○ (8台まで対応) ※3
電池形式・容量	リチウムポリマー電池(110mAh)	防水規格	国際規格 IPX4
充電時間	約 6 時間 ※1	充電端子	microUSB
連続通話(音楽)再生時間	最大約 8(7)時間 ※1	接続機器表示名	BTE19X ※4
スタンバイ時間	最大約 240時間 ※1	バスキーコード	0000 (ゼロを4つ) ※5
動作環境条件	温度5~50℃	その他	HD VOICE(VoLTE+対応)

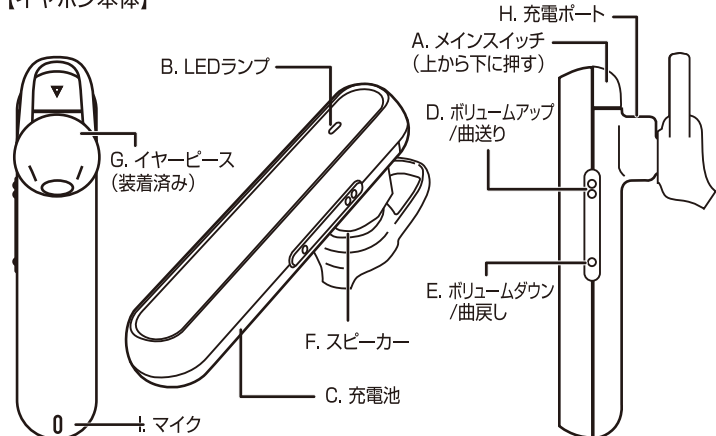
- ※1.使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。
- ※2.イヤークーピーを装着していない状態の数値です。(i)内はイヤホン突起部を含まないイヤホン本体厚みです。
- ※3.電源オフにしても8台までの端末機器とのペアリング履歴を記憶できます(同時に待ち受けできるわけではありません)。
- ※4.接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ(検索)された際に表示される名称です。
- ※5.バスキーコードは工場設定のコードです。携帯電話とペアリングする際に必要となる場合があります。

●●● 対応プロファイルの正式名称

- HSP(Headset Profile)/ヘッドセットプロファイル
- HFP(Hands-Free Profile)/ハンズフリープロファイル
- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)/高度オーディオ配信プロファイル
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)/AV機器リモートコントロールプロファイル

●●● 外観仕様

【イヤホン本体】



名称	機能・説明
A. メインスイッチ	電源入切や通話操作、Siriなどの音声入力呼び出しに使用します。
B. LEDランプ	青色と赤色のLEDを内蔵しイヤホンの状態を表示します。
C. 充電電池(内蔵)	リチウムポリマー電池。(充電電池の交換はできません)
D. ボリュームアップ(VOL+)キー	主に音量を大きくする時や曲送りに使います。
E. ボリュームダウン(VOL-)キー	主に音量を小さくする時や曲戻しに使います。
F. スピーカー	通話やビープ音、音声案内のためのスピーカーです。
G. イヤークーピー	交換可能です。向きを外耳の形状に合わせて調整してください。
H. 充電ポート	付属のUSBケーブルをつないで充電します。
I. マイク	通話用マイクです。

●●● 商標について

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

3 使い方の説明(詳しくは取扱説明書Aもご覧ください)

お買い求めいただいた後、ご使用前に必要な手順

①本製品イヤホンで充電する

ご使用前にイヤホンで充電して、満充電にしてください。(→「4.充電する」を参照)

②お手持ちの携帯電話やスマートフォンと本製品イヤホンでペアリングする

イヤホンそのままではご使用いただけません。お手持ちの携帯電話やスマートフォンと、イヤホンをお互いに登録設定することで、無線通話が可能となります。この設定をペアリングといします。(→別紙、<取扱説明書A>「②ペアリング(接続端末の登録)の方法」を参照)

4 充電する

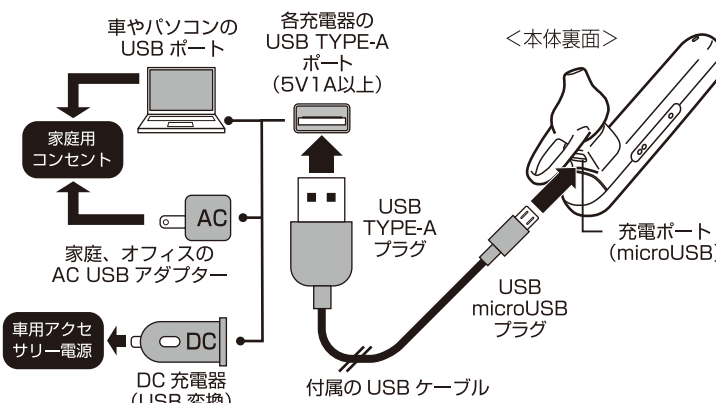
●●● 充電をはじめの前にご確認ください

▲充電をはじめの前に必ずお読みください

- 充電には、必ず付属品のUSBケーブルを使用してください。
- 充電器はDC5V1A以上を出力可能なものをご用意ください。
- お車で充電する際は、車のエンジンを掛けてから充電器を差し込んでください。
- 充電中はイヤホンのLEDが赤点灯し、約6時間で充電が終わると消灯に変わります。
- 本製品にUSBケーブルをつないだまま耳や身体に付着させるのはお止めください。
- 充電電池の劣化を防ぐため、なるべく連続8時間以上の充電は避けてください。充電が完了したら速やかにUSBケーブルを取り外してください。
- 付属品以外のUSBケーブルや充電を使ったり、USB充電器が原因での使用上の事故、破損、不具合に関しては当社は責任を負えません。

●●● 充電の手順

- 出力がDC5V1A以上のUSB-TYPEAの出力ポート付きパソコンやAC充電器、DC充電器を別途ご用意ください。車で充電する際は先にエンジンを始動してください。
- AC充電器はコンセントに挿し、DC充電器はアクセサリ電源に挿して通電状態にしてから、USBケーブルのTYPE-Aプラグ(大きい方)を挿し込みます(上下の向きにご注意ください)。
- イヤホン本体上部の充電ポートにUSBケーブルの小さい方のmicroUSBプラグを差し込みます。
- 充電が開始されるとイヤホンのLEDが赤く点灯します。ゼロから満充電までは約6時間かかり、充電完了になると消灯になってお知らせします。



- プラグの抜き挿しの際は、必ずプラグの根元をしっかりと持って、水平にゆっくり行ってください。
- イヤホンで長期間使用していなかったり、充電電池が完全放電した状態では、LEDランプが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)

5 イヤーフック

- 本体装着済みのイヤークーピーのD型のタブを外耳内側くぼみにひっかけて脱落を防止できますが、付属のイヤーフックを取り付けることにより、より安定したイヤホンの装着が可能です。
- イヤーフックを取り付ける向きによって両耳どちらでもご使用いただけます。好みに応じて調整してください。

※イヤーフックを紛失、破損した場合など、イヤーフックだけをお買い求めいただく場合は、弊社Webサイトから商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(店頭販売の予定はございません)。

発売元
株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江3000番地

セイワホームページのご案内(下のQRコードでもOK)

適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひご覧ください。
https://www.seiwa-c.co.jp

お客様サポートセンター(裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)

お客様サポートセンター… **0570(039)710**
受付時間/AM10:00~PM5:30 曜日~金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

6 イヤークーピー

- 出荷時にイヤークーピーが本体に取り付けられています。
- 交換する際はイヤークーピーのタブ(円形の引っ張り)でない部分をつまんで、やさしくねじりながら取り外して交換してください※無理に割がすと、破れ、切れなど破損の原因になります。
- 紛失、破損した場合でイヤークーピーだけをお買い求めいただきたい場合は、弊社Webサイトから商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(店頭販売の予定はございません)。
- 落下の原因となります。イヤークーピーがきちんとイヤホンのスピーカー側の根元まではまっている事を確認してから、耳にはめてください。

■主要操作一覧

LED灯表示 早見表

5秒毎に1回青点滅	赤/青交互点滅	赤5秒毎に1回点滅	赤点灯	消灯
接続して待機中	ペアリングモード探索中(非接続)	充電が必要な状態	充電中	充電完了

機能ごとの動作一覧

機能/状況	操作	LED表示(イヤホン)	音声・電子音
電源オン	メインスイッチを2秒間押しして離す	青2回フラッシュ点滅	「パワーオン」
電源オフ	メインスイッチを4秒間押しして離す	赤1回点滅	「パワーオフ」
ペアリングモード	電源ONの後、探索モードになります	赤/青交互点滅	「ペアリング」
ペアリングなし	ペアリング(探索)モードが3分間継続	赤/青交互点滅(3分後自動電源切)	—
ペアリング完了	(端末側でも確認できます)	青フラッシュ点滅	「コネクテッド」
スタンバイ(待機)	着信待ちの状態	5秒間隔で1回点滅	—
接続解除(Disconnect)	接続機器とのリンクが外れた時など	赤/青交互点滅(3分後自動電源切)	「ディスコネクテッド」
音量を上げる	VOL+ボタンを押し続ける	—	「ビープ音」
音量を下げる	VOL-ボタンを押し続ける	—	—
再生開始/一時停止	接続中、メインスイッチを1回押す	マルチポイントでは1台のみ	—
リタイア	メインスイッチを短く早く2回押す	—	—
Siri起動(iPhone)	メインスイッチを2秒間押しして離す	—	「ボツ」
着信	—	—	着信音など
着信選択	メインスイッチを1回押す	—	—
終話選択	メインスイッチを1回押す	—	「ボツ」
通話中	—	—	—
接続切り替え	イヤホン側ではできません	—	—
着信拒否	着信時、メインスイッチを1秒間押す	—	—
充電警告	電池残量10~20%未満で警告開始	7秒毎に赤点滅	30秒ごと「ブープ」
充電中	—	赤点灯	—
充電完了	—	消灯	—
リセット	(リセット機能はついておりません)	—	—

*** 代表機種へのペアリング手順

※必ず携帯電話・スマートフォン取扱説明書を読んでから手順をご確認ください。携帯電話・スマートフォンのソフトウェアバージョンアップにより方法が異なる場合もあります。
 ※「BTE〇〇〇」には商品の品番(数字)が表示されます。(本製品はBTE19Xと表示されます)
 ※手順は概略ですので一字一句正確なものではありません。確認及び選択時の決定キー操作などが省略されている場合があります。

iPhone (例: Apple iPhone13/iOS15)	Android OS Ver.10 スマートフォン (例:Galaxy S20 5G SC-S51A(docomo))
1 [ホーム画面]を開いて[設定]を選択してください	1 ホーム画面表示からアプリボタンを押す
2 [Bluetooth]をONにしてください(右にスライド)	2 [設定]を押して選択する。
3 イヤホン本体をペアリングモードにしてください(LEDランプが赤/青交互点滅になる)	3 リスト内[Bluetooth]のスイッチを右にスライドさせONにする
4 自動的にデバイスのスキャンが始まります	4 Bluetoothを選択
5 スキャンが終わると、数秒〜十数秒で[デバイス]のリストに「BTE19X」が表示されます	5 イヤホン本体をペアリングモードにする(LEDランプが赤/青交互点滅になる。)
6 表示されたリストのBTE19Xをタップしてください	6 [機器の検索]をタップ
7 [自分のデバイス]というリストが現れ、「BTE19X」が表示され、その右に「接続済み」という表示が加わります	7 [使用可能な機器]リストに「BTE19X」が表示されます
8 イヤホンがスタンバイモード(自動接続完了)になります	9 [ペアリングされた機器]リストのBTE19Xに[]に接続しましたと表示されイヤホンがスタンバイモード(自動接続完了)になる

※詳しい手順はご使用の携帯電話機の取り扱い説明書をご確認ください。

7 基本操作 ※取扱説明書Aの「③基本操作の説明」もご確認ください

電源オン(電源を入れる) → (電源オフ状態から)メインスイッチを2秒間長押し→LED青フラッシュ点滅まで



電源を入れるとペアリングモードになります → [LED]赤、青交互に点滅した状態。周辺を探索しています

音声案内「ペアリングモード」

ペアリングした携帯電話機が近くにあり、Bluetooth機能がONになっていれば、数秒で自動接続を行います。接続できる端末が近くに無い場合、3分間ペアリングモードが続きます。自動接続しない場合は右の「メモ」を確認してください。

スタンバイモード(自動接続完了) → [LED]接続時青フラッシュ点滅後、5秒ごと青1回点滅を継続

音声案内「コネクテッド」
 電源オンの状態で、ペアリング済みの携帯電話との接続がされている状態です。自動接続が完了するこの状態でも、通話などの操作が可能です。携帯電話側でもBluetoothの項目で接続を確認できます。

探索モード※接続を試行中(未接続) → [LED]赤・青交互点滅(3分間継続)

通話できません
 ペアリングが未登録の状態か、以前ペアリング登録した携帯電話との再接続が成功していない状態です。携帯電話機側の設定でBluetooth機器との接続状況をご確認ください。もしくは上記「ペアリングの方法」をご確認になり、携帯電話とペアリングを行ってください。

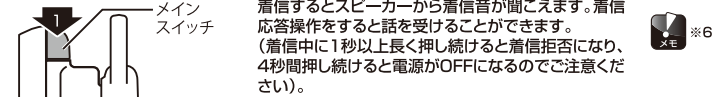
電源オフ(電源を切る) → (電源オン状態から)メインスイッチを4秒間長押しする

音声案内「パワーオフ」 LEDランプが赤色に1秒だけ点灯して、電源が切になります。

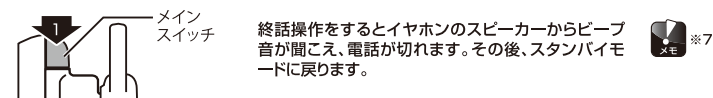
着信 → 着信音がイヤホンから聞こえます

- ※着信中はスピーカーから着信音が聞こえます。
- ※一部の携帯電話機の仕様や設定によっては、相手の電話番号や連絡先名称が英語で読み上げられます。
- ※一部、携帯電話側で設定が必要な場合があります。
- ※着信音を変更することはできません。
- ※機種によっては、スピーカーから着信音が鳴りません。

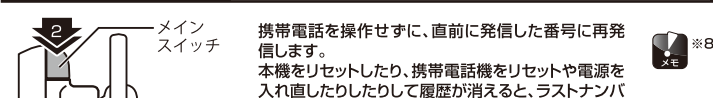
着信応答(電話を受ける)/通話 → (着信中)メインスイッチを短く1回押し



終話(電話を切る) → (通話中)メインスイッチを短く1回押し



ラストナンバーリダイヤルする → (自動接続完了のスタンバイモード中)メインスイッチを短く2回押し



イヤホンから携帯電話への通話切り替え → (通話中)携帯電話機側の操作

本機側での操作で、イヤホンから携帯電話本機への通話切り替えはできません。携帯電話機側の画面操作で切り替えを行ってください。

音量調節 → ボリュームアップ(VOL+)キー/ボリュームダウン(VOL-)キーの操作



ボリュームアップ(VOL+)キーを長押しすると押し続けている間は受話音量が上がります。ボリュームダウン(VOL-)キーを長押しすると押し続けている間は受話音量が下がります。音量増減の段階は接続機種によって変わります。また、機種によってはこの操作で一番最大、最小の音量まで調整できない場合があります。
 ※AVRCPでの音楽再生時のみに、ボリュームアップ(VOL+)キーを押すとピー音で最大音量をお知らせします。

※1:一度ペアリングをすれば、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード(待機状態)になります(自動接続されない場合は、メインスイッチを一度押してください。接続が再試行されます。それでも接続されない場合は、携帯電話の画面でBTE19Xを選択して接続してください)。

※2:ペアリングが成功するとスタンバイモード(自動接続完了)になります。ペアリングモード中にペアリングが成功しない場合や、認証に失敗した場合などは、ペアリングモードになり、そのまま3分経過すると電源が切れます。

※3:携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されます。携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご使用になる前に携帯電話の使用可能な機器リストより本製品を接続しなおしてください(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE19X」を削除し、イヤホンの電源を切って満充電まで充電した後、再度ペアリングしてください。

※4:イヤホンの電源オン後の自動接続に失敗したり、携帯電話との接続が切れると自動的にペアリングモードになり、そのまま3分経過すると電源が切れます。

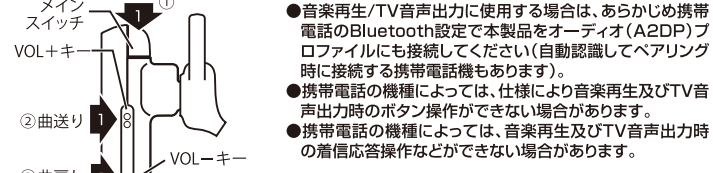
※5:イヤホンの電源をオフにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残ります。(最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能)

※6:イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(通話ボタンを押すなど)して電話を受けることもできます(携帯電話本体での通話となりますので、その後通話を携帯電話機の画面操作でイヤホンに切り替えてください)。

※7:イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(終話ボタンを押すなど)して電話を切ることもできます。

※8:HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後イヤホンに通話を切り替えてください。

*** 音楽再生やTV音声出力を楽しむ



- 音楽再生/TV音声出力に使用する場合は、あらかじめ携帯電話のBluetooth設定で本製品をオーディオ(A2DP)プロファイルにも接続してください(自動認識してペアリング時に接続する携帯電話機もあります)。
- 携帯電話の機種によっては、仕様により音楽再生及びTV音声出力時のボタン操作ができない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、音楽再生及びTV音声出力時の着信応答操作などができない場合があります。

機能(上図①〜③の番号) 操作方法/説明

- ①再生/一時停止 (音楽/動画を起動した状態で) メインスイッチを短く1回押し
- ②曲送り(チャンネル送り) (再生中に) ボリュームアップ(VOL+)キーを短く1回押し
- ③曲の頭出し(チャンネル戻し) (再生中に) ボリュームダウンキー(VOL-)を短く1回押し

- 音楽再生中の着信応答 着信中にメインスイッチを短く1回押し(音楽は一時停止)
- 電話を切る(終話) 通話中にメインスイッチを短く1回押し(音楽再生またはTV視聴に戻ります。)

8 マルチポイント(2台同時待ち受け)

本製品は同時に2台の携帯電話と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。

*** マルチポイントについて

- ※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話ではマルチポイント接続できない場合があります。
- ※携帯電話機やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。
- 2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
 - ①1台目の携帯電話(Bluetooth機器との再接続メニューがある携帯電話)をペアリングしてください。
 - ②携帯電話機の操作により、携帯電話機のBluetooth機能をOFFにしてください。
 - ③2台目の携帯電話を1台目と同じようにペアリング完了してください。
 - ④最初ペアリングした携帯電話のBluetooth設定をONにして再接続してください。
 - ⑤2台の携帯電話機のBluetooth設定(リスト)で本製品と接続状態になっているか確認してください。
- ※この場合1台目にペアリング登録した機種が接続順では2台目の端末となり、2台目にペアリング登録した端末が1台目に接続した端末となります。この時、ラストナンバーリダイヤルは最後に接続した接続端末の最終発信履歴のみに対応します。
- ※マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにする、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、上記の②から再度設定してください。

*** マルチポイント時の通話に関する操作

- マルチポイント接続中(2台待ち受け時)は、どちらの携帯電話に着信があってもイヤホンから着信音が聞こえます。着信応答、着信拒否などの操作は通常と同じです(→「7.基本操作」参照)。
- ※マルチポイントでご使用になっている場合に両方の接続端末に受信があっても、本製品側の操作で接続の受け渡しや保留の動作はできません。携帯電話機側の画面で操作を行ってください。

9 便利な機能

*** 充電電池残量警告機能

●イヤホンの充電電池残量が少なくなると、30秒ごとにイヤホンのスピーカーから音声で「ブープ」と音声でお知らせし、イヤホンのLEDも7秒毎に赤が1回点滅します。そのまま使用を続けると電池残量がなくなり電源が切れてしまいますので、お早めに充電してください。

*** Siriを起動する (iOS5.1以上をインストールしたiPhone4s以上で対応) ※2022年3月現在

- スタンバイモード時にイヤホンのメインスイッチを約1秒長押ししてポツツというピー音音が聞こえたらすぐに指を離してください。iPhoneのSiri(音声アシスタントサービスが起動し、)イヤホンを通しての音声入力がBluetoothのマイクで可能になります。起動した状態から終了させたい場合はもう一度メインスイッチを短押ししてください。
- iPhoneでの音楽再生中にイヤホンのメインスイッチを1秒長押しすると、音楽が自動的に一時停止し、Siriが起動します。
- ※マルチポイント時は1台目に接続したiPhoneでのみ、Siri起動が可能です。
- ※上記操作はiOS及びAPPのアップデートなどにより、操作が変更もしくは限定される場合があります。

*** リンク切断後の再接続試行

- 接続中の接続機種とイヤホンが通信範囲(見通し約10m)から離れた場合、ディスコネクト(接続解除)の音声案内と共に接続が解除されます。その後約180秒以内に通信範囲内に戻れば、自動で再接続を試行し、成功するとコネクテッド(接続)の音声案内が聞こえます。
- 180秒以内に10m以内に戻っても自動で接続しない場合は、携帯電話側にて手動で再接続してください。
- 10m以上離れた状態のまま連続で180秒が経過するとイヤホンの電源が自動で切れます。この場合はその後、10m以内に帰った時、イヤホンの電源を入れ直して再接続を行ってください。
- ※自動で再接続できない場合は、接続機器から再接続を行ってください。

10 トラブルシューティング

●故障かな?と思ったら、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書ももう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法
■携帯電話で検索(サーチ)しても「BTE19X」が表示されない
■ペアリングは完了したが接続できていない
■ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。
 ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
 ②イヤホンの電源をオフにして、再度電源をオンにする。
 上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE19X」を削除し、一度イヤホンを充電した後、再度ペアリングしてください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	イヤホンの充電電池が十分に充電されていない可能性があります。
電源をオンすると赤/青交互点滅にならない	イヤホンがどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後や、リセット直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングができない	すでに1度登録済みで接続されている携帯電話機が周囲にならなくなっているか確認してください。
ペアリングができない	電波が多く強い環境では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度お試しください。
携帯電話が不適合機種である可能性がある	適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをお試しください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。

症状や疑問点	確認していただくこと
通話、受信ができない	携帯電話機のBluetooth設定画面で接続状態かどうかをご確認ください。一部の携帯電話機(SHARP製など)では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定が初期設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認ください。ハンズフリーの設定にするか、着信ごとに本機のメインスイッチを2秒長押しして、手動で携帯電話機と接続する事をお試しください。 着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押しですぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。また他の無線機器と接続している場合や、携帯電話の電波が混雑しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、近くに電子レンジ、自動扉、電波塔などの無線を妨害する機器や設備がなかなか確認してください。 携帯電話をズボンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話とイヤホンとの間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
音が聞こえない	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。音量が小さくなっている可能性があります。音量を調節してください。 携帯電話機側にマイク、スピーカーが受け渡されている可能性があります。携帯電話機の画面を確認して、手動で本機と接続を試してみてください。 機種によっては、スピーカーから着信音が鳴りません。
イヤホンから発信ダイヤルできない	イヤホンの操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーリダイヤル(一番最後に発信した番号へのリダイヤル)のみとなります。また、一度携帯電話機側で発信してから再度お試しください。
イヤホンからリダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP(イヤホンプロファイル)で接続している可能性があります。
使用中に電源が切れる	携帯電話機と10m以上離れた時間が連続で約3分以上を超えると、省電力モードに移行し、電源が自動的に切れる仕様となっています。その場合は再度、電源を入れ直す作業が必要です。 内蔵電池の寿命も考えられますが、一度イヤホンと接続機側のリセットをお試しください。
ペアリング成功後、自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されます。携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用していない場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
TVの音声や音楽が聞こえない	携帯電話側がSCMS-T対応かどうかをご確認ください。携帯電話が対応していない場合、TV放送は聞けません。 ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
パソコンとの適合を知りたい	Bluetooth規格の性質上、パソコン側のBluetooth機器がHSP(イヤホンプロファイル)に対応していない場合は接続ができませんが、細かい動作の確認は、OSやソフトウェアなどの互換性が影響することから、弊社はパソコン個別機種との適合の検証はお受けしておりません。
通話/スタンバイ時間が短くなってきた	内蔵充電電池は消耗品です。長期間の使用(充電と放電の繰り返し)により、通話時間/スタンバイ時間が少しずつ短くなります。十分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなかった場合は、充電電池の寿命です。充電電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
イヤーマウス、イヤーフックが破損、紛失した	本製品に付属のイヤーマウス、イヤーフックは、保証対象外の消耗品です。本製品をお買い求めいただく場合は、弊社WEBサイトから商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(店頭販売の予定はございません)。
USBケーブルが破損、紛失した	保証期間内の製造上の不注意による初期不具合は修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替品の提供などはできませんのでご了承ください。 お買い求めいただく場合は、弊社WEBサイトから商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(店頭販売の予定はございません)。
イヤホンがDC充電器で充電できない	DC充電器がお車のアクセサリソケットに確実に差し込まれているか確認してください。 お車のエンジンがかかっている(またはACC)が確認してください。 お車のバッテリーからのサージの発生により、車かDC充電器内のフェーズが切れている可能性があります。
マルチポイント接続ができない	一部の携帯電話などのBluetooth機器との再接続メニューがない機種同士は、本製品ではマルチポイント接続ができません。(Android端末)
マルチポイント接続中着信音が聞こえない	Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話は、2台目として登録してください。 マルチポイント接続している2台のうち、1台目の携帯電話で通話中、別の携帯電話に着信があってもイヤホンからは着信音が聞こえません。 機種によっては、スピーカーから着信音が鳴りません。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。